



太鼓の力を、社会の力へ。

KODŌ

公益財団法人 鼓童文化財団
年次報告・計画書 2024-2025



日頃より、鼓童文化財団の活動にご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。ここに本年度の年次報告書・事業計画書をお届けできることを、大変嬉しく思っております。

本年度も私たちは、鼓童の精神と芸術を未来へと継承するため、多くの取り組みを重ねてまいりました。アース・セレブレーションはコロナ禍前と同じ状況で行う事ができました。さらに、公演活動の支援をはじめ、若手育成のための研修プログラム、地域との連携による文化交流事業、エクサドンの普及活動等にも力を注ぎました。世界的な情勢や社会環境の変化により、私たちの活動も新たな柔軟性と創意工夫が求められる時代となりましたが、多くの皆様のご協力に支えられ、確かな一歩を刻むことができました。

鼓童は、単に伝統を守るだけでなく、時代と響き合いながら新たな表現を生み出していくことを使命としています。そのためには、多様な視点と新しい世代の力を取り入れ、挑戦を恐れない姿勢が必要です。鼓童文化財団はこれからも鼓童の理念を大切にしながら、未来に向けた礎を築いてまいります。

引き続き、皆様のお力添えとご指導を賜りますようお願い申し上げ、理事長としてのご挨拶とさせていただきます。

2025年 4月

五十嵐 実 (いからし みのる) プロフィール

税理士、日本自然環境専門学校学校長、障がい者就労施設「あおぞら」副理事、(一社)五頭自然学校理事長、新潟 NPO 協会理事。

人間の能力を引き出し、社会をより良く変革していきたいとの思いから、「組織開発」「マインドフルネス」の指導・普及に取り組む。

鼓童文化財団研修所

日頃より鼓童グループへのご支援を賜り、深く感謝申し上げます。
本年4月1日より、鼓童代表、鼓童文化財団理事とともに、研修所の所長を兼務することとなりました。
どうぞよろしくお願い申し上げます。

鼓童代表、鼓童文化財団理事
鼓童文化財団研修所所長 船橋 裕一郎



2026年度研修生の募集休止と、未来に向けた改革について

募集の休止について

鼓童では1985年より鼓童の舞台を目指し、夢に向かう若者を研修生として受け入れ、育成してまいりました。今年で研修制度を開始して40周年、1996年に柿野浦集落にある旧岩首中学校の校舎跡をお借りしてから約30年間となります。

私たちは文化と自然豊かな佐渡島で、規律正しい共同生活の中で仲間たちと育まれる時間が、これからの社会において一層価値のあるものになるであろうと考えています。



例年6月には、翌年度の研修生の募集要項を発表するのを通例としておりますが、今後も継続して、より充実した環境のもとで研修生を受け入れるため、今年は2026年度の研修生募集を行わないことといたしました。

40年間継続してきたことを中断するのは簡単ではありませんが、築70年を超える施設の老朽化や、年々過酷となる気温の上昇等への対応が必要となっておりました。長年にわたり支えられてきたこの場をこれからも続けていくためには、今、立ち止まって見直すことが必要だと判断いたしました。

研修カリキュラムの見直しや、施設や楽器の整備・修繕等を行い、これまで以上に研修の環境を充実させていきたいと考えております。

皆様からのご理解とご協力をいただければ幸いです。



2025年3月。
在島メンバーとスタッフ、研修生も参加して、
研修所の稽古場の床を修繕しました。

未来に向けた改革、ならびにご支援のお願い

2026年の研修生は2年生(現1年生)のみとなります。彼らとも相談しながら、カリキュラムの整備を行い、2027年度の募集再開に向けて取り組む一年といたします。

佐渡で暮らし、多くの出会いの中で学び、豊かな自然の中で創造性を育む研修生の「自らを耕す」経験は、鼓童の舞台表現という「花」を咲かせるために欠かすことのできないものです。

1997年に鼓童文化財団設立を機に2年制として以来、近隣の集落の皆様や佐渡の島内外よりお招きする講師の皆様とともに練り上げてきたカリキュラムは本当に多彩で、どれも大切ですが、限られた研修期間の中で学ぶには時間が足りないという状況も生まれております。

現在、前所長 石原泰彦からの引き継ぎをはじめ、集落の皆様や島内の講師の皆様など身近な方々へのご相談を始めております。その中で鼓童や研修所に対する思い、ご意見、ご期待などを伺い、改めて研修所の持つ価値を再認識しているところです。



研修所のカリキュラムは、鼓童の舞台における太鼓演奏の技術力や表現力に留まらず、体力、気力、感性、教養、礼儀を持ちうる人としての土台を身につけるものとして、これまでも多くの人材を輩出してまいりました。

たとえば、地元に戻って太鼓グループを立ち上げたり、ソロの太鼓奏者・指導者や、篠笛・和楽器奏者などの進路は想像しやすいと思いますが、研修所での経験をきっかけとして、郷土芸能の担い手、劇場や舞台のスタッフ、食文化や農林業、サービス業に携わる者など、多くの修了生が各地で活躍しております。

研修生の様子や、改革への取り組み等につきましては、できる限り皆様にお伝えしていけるよう努めてまいります。

鼓童のメンバー・スタッフはもとより、佐渡、日本、そして世界各地で活躍する人材を育む場として、鼓童研修所の改革にご注目いただき、皆様からの格段のご協力とご支援をいただけますようお願い申し上げます。

計画案

2025年 カリキュラム見直し開始
2026年 カリキュラム整備、施設修繕等
2027年度研修生募集再開
2027年 新制度スタート

- ◆ 1985年～2025年(40年間)
短期研修を含めて受け入れた人数：350名
研修生から鼓童準メンバー・メンバーに採用した人数：延べ115名
- ◆ 1997年～2024年(27年間)
2年制となった研修所を修了した人数：193名
- ◆ 2025年4月現在、鼓童に在籍する研修所出身者
鼓童メンバー 30名、準メンバー 5名
スタッフ 14名



2024年度トピックス

エクサドン

佐渡島内でのエクサドン普及を目的に、(一社)佐渡地域医療・介護・福祉提供体制協議会と連携し佐渡市民を対象とした研修会を実施したほか、佐渡総合病院のリハビリテーション科との体験事業を実施。9月にはスイスから高齢社会医療専門家の視察受け入れ、10月には(一社)日本農村医学会の学術総会でワークショップと事例発表を行いました。



海外からの太鼓合宿の受け入れ

ニューヨークと札幌の非営利団体が共同で実施する、国際的な教育・交流事業「Taiko for Peace」の佐渡での受け入れを担当。アメリカの高校生が深浦学舎に滞在し、太鼓合宿や地元高校生との交流を行いました。また同7月にハワイ島「コナ大福寺太鼓」の太鼓合宿も受け入れ、海外からの来島ニーズが高まっています。



子どもレストラン(食文化教室)&太鼓体験

文化庁「伝統文化親子教室」の委託事業として、10月と11月の2回「子どもレストラン」と「太鼓体験」をセットにした親子向けの体験教室を実施。子ども達がシェフとなり、自ら作った手料理をお客様に提供。親子で楽しんでいただける機会となりました。



出張! たたこ館まつり

毎年11月に行われる鼓童公演に合わせ、「たたこ館まつり」の出張版のイベントをアミューズメント佐渡で実施。多くのお客様にお越しいただき、太鼓体験や鼓童研修所紹介、鬼太鼓の実演、鼓童の展示や佐渡の美味しい食など、様々な企画を公演とともにお楽しみいただきました。



島内保育園での「はじめての鼓童」

新潟県「県民文化活動推進事業(次世代育成枠)」の補助金を活用し、12月に島内3ヶ所の保育園にて「はじめての鼓童」として題して訪問演奏を行いました。未就学のお子さんでも楽しんでいただけるような体験型プログラムを展開し、笑顔の輪が広がりました。



決算

貸借対照表			2024年12月31日現在	(単位:円)
I 資産の部				
流動資産	現金および預金		20,306,881	
	売掛金		13,125	
	未収金		4,399,363	
	前払金		38,285	
	短期貸付金		37,100,000	
	立替金		9,340	
	仮払金		122,424	
	流動資産合計		61,989,418	
固定資産	基本財産	土地	35,370,000	
		太鼓	3,333,334	
		投資有価証券	50,000,000	
		基本財産合計	88,703,334	
	特定資産	第四北越(特定)	10,000,507	
		大光銀行2(特定)	211,931	
		投資有価証券(特定)	20,000,000	
		建物(特定)	25,992,980	
		備品(特定)	1	
		特定資産合計	56,205,419	
	その他の固定資産	土地	60,000	
		建物	6,998,831	
		車輛運搬具	2	
		什器備品	1,327,530	
		建物附属設備	6,941,909	
		ソフトウェア	560,000	
		その他の固定資産合計	15,888,272	
固定資産合計			160,797,025	
資産合計		222,786,443		
II 負債の部				
流動負債	短期借入金	37,100,000		
	未払金	4,206,695		
	前受金	8,250,900		
	未払消費税等	964,300		
	流動負債合計	50,521,895		
固定負債	長期借入金	45,493,000		
負債合計		96,014,895		
III 正味財産の部				
指定正味財産	指定正味財産合計	91,575,419		
	(うち基本財産への充当額)	35,370,000		
一般正味財産	一般正味財産合計	35,196,129		
	正味財産合計	126,771,548		
	負債及び正味財産合計	222,786,443		

正味財産増減計算書 2024年1月1日 から 12月31日 まで			(単位:円)
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益	1. 基本財産運用益	1,627,158	
	2. 特定資産運用益	0	
	3. 受取会費	0	
	4. 事業収益	65,826,709	
	5. 受取補助金等	3,641,040	
	6. 鼓童の会収入	8,173,000	
	7. 受取寄付金	15,283,855	
	8. 雑収益	2,125,939	
経常収益計		96,677,701	
(2) 経常費用	1. 事業費	72,907,614	
	2. 管理費	35,405,941	
	経常費用計	108,313,555	
	当期経常増減額	-11,635,854	
2. 経常外増減の部			
経常外収益計	経常外収益計	10,000,101	
	経常外費用計	0	
	当期経常外増減額	10,000,101	
	税引前一般正味財産増減額	-1,635,753	
	一般正味財産増減額	-1,635,753	
	一般正味財産期首残高	36,831,882	
一般正味財産期末残高	一般正味財産期末残高	35,196,129	
	一般正味財産への振替額	13,641,141	
II 指定正味財産増減の部			
指定正味財産増減の部	指定正味財産増減額	-13,640,533	
	指定正味財産期首残高	105,215,952	
	指定正味財産期末残高	91,575,419	
	指定正味財産期末残高	126,771,548	

ご支援いただいた皆様 (2024年1月1日～12月31日/敬称略) ※総額で10口(1万円以上)のご寄付をいただき、希望された方のみご名義を掲載しています。

ご寄付 総額 14,383,855円

- (1) ワン・アース・ツアー支援(計526,668円) アニュアル:10口 Suraya Omar
30口 野口理奈 / 15口 山口香世子 / 10口 遠藤建設株式会社、中村泰輔 / 3口(有)ワタナベ測量設計 / 10口未満及び匿名希望の方の合計 448,668円
- (2) 一般寄付(計11,562,032円) マンスリー:20口 伊藤正依 / 15口 石黒裕康 / 12口 東 英子 アニュアル:10口 Tarasenko Petro
10,000口 堀口智願 / 100口 Denise Tange / 30口 広瀬清美 / 10口 飼沼すか、河内寿美子、高橋マサ子、上妻里衣子、風間信二 / 3口(有)ワタナベ測量設計 / 10口未満及び匿名希望の方の合計 1,322,032円
- (3) 研修生育成支援(計2,041,772円) 研修生育成支援のご寄付は、太鼓張り替え、エアコン・扇風機の設置及び研修に必要な道具・材料等の費用に充てさせていただきました。
マンスリー:60口 藤本暢之 / 36口 小澤宏之 / 12口 亀山 剛、平野伸明、向井紀代美 / 11口 野口 忍 / 10口 天井美知代 アニュアル:50口 手嶋 理
400口 五十嵐 実 / 15口 山口香世子 / 10口 本間巖夫、簗輪永世 / 4口(有)ワタナベ測量設計 / 10口未満及び匿名希望の方の合計 1,399,772円
- (4) 永年賛助会(3名900,000円) 古谷野淳子、匿名希望2名
- (5) リサイクル募金きしゃぼん(研修生の稽古用のパチ材購入支援): 56名より105,620円
- (6) やまいもく募金(たたこ館の原木太鼓修繕へのご支援):10口未満 及び募金箱の合計141,695円

■ インカインド(物によるご支援)

桐箆箆・小木箆箆(中川美佐子・中川益栄)、篠笛・着物等(匿名希望)ほか、2024年も多くの皆様より様々なお心遣いをいただきました。ありがとうございます。

■ 「鼓童の会」会員の皆様 (2024年1月1日～12月31日)

2024年に会費を受領した方[法人:7団体、個人:1005名] / 会費受領総額 8,173,000円
法人特別支援会(年会費10万円):株式会社コスミックコーポレーション、有限会社浦島、匿名希望1団体
法人支援会(年会費5万円):株式会社エス・ケイリース、株式会社広瀬組、中央イベントリース株式会社、株式会社DI Palette
特別支援会(年会費10万円):有友雄一、Hitomi & Hideaki ほか 計13名
支援会(年会費5万円):稲垣昭生、内倉ジョン、芳賀敦子、原 雅理、松田友一、松村美代、望月文子、森下修次、吉川峰子 ほか 計18名
後援会(年会費1万円・入会金1,000円):304名 / 友の会(年会費3,000円・入会金1,000円):670名 / 永年賛助会(30万円・賛助会からの移行):3名
※上記のほかに、(株)北前船が管轄する賛助会(定員350名/賛助会会費30万円)の会員情報を管理。

2025年の活動計画

2025年、会計制度、公益認定制度の改革が盛り込まれた「新公益法人制度」が施行されます。鼓童グループにとって公益法人を持つ意義と強みを活かし、地域や国内外から求められる活動の充実を図ってまいります。

1 人づくり（研修および体験学習を通じた担い手の育成）

（1）「太鼓芸能集団 鼓童メンバー養成」コース

- 一年次（44期） 4月～1月 8名
- 二年次（43期） 2月～1月 6名（人数は2025年4月30日現在）

2025年は募集対象年齢の上限を25歳から27歳に引き上げ、「鼓童のメンバーを志望する人」に加え、「太鼓を通して社会に貢献する目標を持つ人（※1年次のみ）」も応募可能として受け入れ。また研修所のスタッフ体制、施設整備を含めた持続可能なプログラムの検討を促進する。



入所式

能の稽古

2 地域おこし（地域資源を利用した地域活性化）

（1）たたこう館（佐渡太鼓体験交流館）の運営

教育旅行の太鼓体験についてこれまでの体験内容に複数の鼓童メンバーによる演奏を加え、更に魅力あるプログラムの充実を図る。

たたこう館ウェブサイト：tatakokan.jp



リニューアルした、たたこう館チラシ

（2）深浦学舎の運営

廃校を活用した取り組み。太鼓研修の他、「太鼓の学校」等スタジオの継続的な活用を行い、様々な方々が学ぶ「場」としての深浦学舎の活用を図る。

（3）「鼓童 佐渡宿根木公演」、「鼓童 夏の公演」、「鼓童 秋の公演」

株式会社北前船との共同開催により、佐渡観光の活性化の一翼を担う。

- ・「鼓童 佐渡宿根木公演」4月26日～5月6日（全10回公演）
- ・「佐渡両津 鼓童 夏の公演」7月19日～7月27日（各週末）
- ・「佐渡小木 鼓童 秋の公演」10月11日～10月19日（各週末）



「鼓童 佐渡宿根木公演」

（4）佐渡の地域振興に資する各種団体の事務局運営や活動のサポートおよび中間支援

- ・ 小木湊まちなみの輪
- ・ 佐渡国しま海道
- ・ 美佐渡会（みさとかい）
- ・ 鬼太鼓の森づくり協議会
- ・ 一般社団法人佐渡地域医療・介護・福祉提供体制協議会

3 芸術文化の振興（伝統文化の調査研究を通じた芸術文化の振興）

（1）エクサドンの普及

現在37名のファシリテーターがおり、2025年3月に資格更新講習会を開催。また8月、アメリカ・アリゾナ州で開催される北米太鼓カンファレンスで宮崎正美がエクサドンの講師を務めるほか、パネルディスカッションに菅野敦司が参加する。



オンラインでの資格更新講習会

（2）アウトリーチ活動

- ・ 研修生と島内中学生の交流学校公演
- ・ オンラインレッスン「鼓童 太鼓の学校」など

（3）佐渡の文化に関する調査研究及び資料収集

- ・ 佐渡に関する図書資料等の閲覧コーナーの設置
- ・ 資料整理（目録の作成およびデータ化等）

（4）伝統文化・文化活動への支援

- ・ 佐渡の集落で継承されている芸能の支援、イベント等での紹介
- ・ 鼓童メンバーに対する、芸能講座、現地訪問等の支援

4 国際交流（国際的な文化交流の場づくりと実践）

（1）国際芸術祭「アース・セレブレーション(EC)」の実施・運営

開催期間：2025年8月22日（金）～8月24日（日）

開催内容：コンサート、フリンジ、ワークショップ・体験、ハーバーマーケットほか

38回目となるEC。海外からはイスラエル、セネガル、韓国のアーティストを、国内からはシンド・カフカ主宰の音楽プロジェクト el tempo（エル・テンポ）を招聘。重伝建地区に選定された小木町との連携強化また国際的目標であるSDGsに配慮した運営など佐渡の観光地域づくりに寄与する形を目指す。

アース・セレブレーションウェブサイト：www.earthcelebration.jp



「アース・セレブレーション」

（2）海外からの太鼓合宿の受け入れ

「Taiko for Peace」（アメリカの非営利団体と提携）、Zenshin Daiko（ハワイ・マウイ島）など

（3）クルーズ船の受け入れ

外国人客のクルーズ船（5隻）への鼓童公演（3回）と太鼓ワークショップ（2回）の実施。

5 広報・ファンドレイジング

（1）発行物

- ・ 機関誌『季刊鼓童』年4回（2月、5月、8月、11月）
- ・ 「年次報告書」（5月）
- ・ 「鼓童文化財団の人材育成」パンフレット（11月）



『季刊鼓童』
（2025年2月発行「新年の抱負」より）

（2）ウェブサイトの充実

- ・ エクサドン、たたこう館サイトの発信・英語対応の強化。
- ・ 鼓童サイトの支援ページ、研修所の発信強化を図る。

（3）インターネットを活用した資金調達

- ・ リサイクル募金「ぎしゃぼん」（古本や不要な日用品等を換金して希望の活動団体に寄付）
- ・ GOEN CRM（セールスフォースを利用した非営利団体向け顧客管理システム）の活用
- ・ ふる佐渡（佐渡汽船が運営する、佐渡市ふるさと納税サイト）への返礼品の提供

（4）鼓童の会の運営

- ・ 鼓童メンバーと会員の交流イベントの開催等
- ・ 永年賛助会制度の継続的運用
- ・ 法人会員制度の導入および「遺贈」寄付制度の検討



「鼓童の会」交流イベント
（2024年）

「鼓童文化財団」役員・評議員

理事長	五十嵐実	税理士、日本自然環境専門学校校長
専務理事	菅野敦司	
理事	佐藤敦子	高崎経済大学 准教授
理事	船橋裕一郎	太鼓芸能集団「鼓童」代表
理事	松田祐樹	NPO法人佐渡芸能伝承機構 理事長
理事	上之山博文（新任）	（株）北前船 取締役
監事	河内秀夫	税理士
監事	堀田伸吾	弁護士
評議員	青木孝夫	（株）北前船 相談役
評議員	関原 剛	協同組合ウッドワーク 顧問
評議員	堀口智顕	サンフロンティア不動産株式会社 代表取締役会長
評議員	洲崎拓郎（新任）	（株）北前船 代表取締役社長
特別顧問	島崎 信	武蔵野美術大学名誉教授
顧問	高野宏一郎	元佐渡市長

鼓童グループは、以下の4つの組織に分かれて運営いたしております。

- 太鼓芸能集団「鼓童」
きたまえん
- 株式会社 北前船
おとだいく
- 有限会社 音大工
- 公益財団法人 鼓童文化財団

鼓童文化財団スタッフ（50音順）

秋山千晴	石崎亮治
石原泰彦	上之山博文
大井キヨ子	藤井昌子
本間康子	宮崎正美
村下阿実	山中津久美
吉川正基	米谷友宏

鼓童グループへのご支援をお願い申し上げます。

皆様のご理解と応援が、私たちの活動継続の大きな力となっております。

ご支援の方法

1 「寄付」で応援する

クレジットカード決済

鼓童サイト内のご支援お申込みフォーム(QRコードより)に必要な事項をご入力ください。

※ 鼓童を継続的にご支援いただける方は、マンスリーサポーター(毎月の寄付/毎月500円～)をお選びいただければ幸いです。



ご支援
お申込みフォーム

銀行振込・郵便振替

上記のご支援お申し込みフォームに必要情報を入力の上、以下の口座にお振り込みください。(お振込先は、寄付フォーム入力後の自動返信メールでもお知らせいたします)

【銀行振込】三菱UFJ銀行 新潟支店 普通 0142468
公益財団法人 鼓童文化財団

【郵便振替】00690-9-25829 (財)鼓童文化財団

※ 銀行振込、郵便振替のお客様も、ご支援お申し込みフォームで「寄付の使途」をお選びください。(または郵便振替用紙の通信欄にご記入ください)

「寄付の使途」

研修生育成支援



鼓童文化財団研修所の運営に対するご寄付です。2026年度の募集休止と改革を経て、更なる研修の環境充実を目指しています。1985年より続き、鼓童という活動の礎となっている研修所。その未来と、そして夢に向かう研修生の思いを支えていただけませんか。今後も持続可能なものとしていきますよう、皆様からのご支援をいただければ幸いです。

ワン・アース・ツアー支援



「ワン・アース・ツアー」は、世界各地を旅し言葉や文化の違いを越えた「共感共同体」を創りたいという願いを込めた、鼓童の表現活動の総称です。離島や山間部、人数の少ない学校など、様々な場所へ鼓童の音を届けるために使わせていただきます。

一般寄付



鼓童の舞台が「花」とすれば、「根」を支えているのが、鼓童文化財団です。「エクサドン」など公益性の高い事業に取り組む、鼓童文化財団の活動全般へのご寄付となります。

税制上の優遇措置について

当財団への寄付金や「鼓童の会」の会費は、特定公益増進法人への支援金として、確定申告により所得税等の優遇措置の対象となります。



2 「物品の提供」によるご支援

あなたの宝物で研修生をご支援ください!

リサイクル募金とは、皆様から切手・ハガキ・貴金属・ブランド品・本・DVD等をご提供いただき、その査定換金額が公益財団法人鼓童文化財団に寄付される取り組みです。ご寄付は、稽古に励む研修生のバチ材の材料費として役立てられます。申込受付から査定・報告、および送金は「リサイクル募金きしゃぼん」(運営: 嵯峨野株式会社)が担当します。リサイクル募金1回のご参加につき、きしゃぼんからも100円が寄付されます。



きしゃぼん

3 「鼓童の会」に入会する

「鼓童の会」は、鼓童の活動に共感してくださる皆様と鼓童をつなぎ、活動を幅広く応援していただく会です。会員の皆様には年4回発行の機関誌『季刊鼓童』をお届けするほか、年会費の額に応じた特典をご提供いたします。

〈ご入会方法〉

クレジットカード決済、コンビニ払い

「鼓童チケット予約サイト」よりご入会ください。会員IDがその場で確認いただけますので、入会手続きが済み次第、チケットの先行予約をご利用いただけます。



鼓童チケット
予約サイト

銀行振込・郵便振替

払込通知が到着後、事務局でお客様情報を登録いたしますので、手続き完了までに数日かかります。

【郵便振替】00690-9-25829 (財)鼓童文化財団

※ 「通信欄」に入会を希望する会の名称をご記入ください。

※ 寄付と会費の送金先は共通の口座になります。合わせて送金いただく場合は、内訳をご明記ください。



2024年12月21日、文京シビックセンターで
会員限定の交流イベントを行いました。
(参加メンバー: 船橋裕一郎、前田順康、住吉佑太)

イベントの様子をYouTubeで
ご覧いただけます。



鼓童文化財団

KODO CULTURAL FOUNDATION

〒952-0611 新潟県佐渡市小木金田新田148-1 鼓童村
Tel. 0259-81-4100 Fax: 0259-86-3631
Email: zaidan@kodo.or.jp
www.kodo.or.jp

「公益財団法人鼓童文化財団 年次報告・計画書 2024-2025」

発行責任者: 五十嵐実

編集責任者: 上之山博文、本間康子

デザイン: どんぶらこ design

写真: 岡本隆史、坂口正光、仲塚直樹、米谷友宏、鼓童